

参加者・演題募集テーマFeasibility and Well-being 「より良く生きることをより確かにすること」

第16回 国際複合環境要因学会

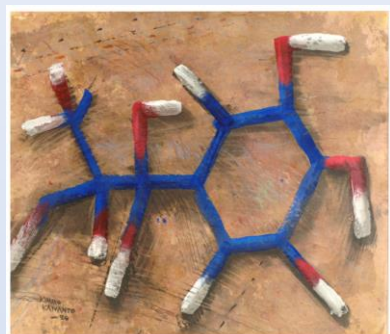
ICCEF2018

開催地 高崎・群馬県(群馬パース大学)

本部 フィンランド・タンペレ

学会長 高橋正明(群馬パース大学)

2018/9/22・23 (sat・sun)



保健・医療・福祉、人間工学、人間科学、スポーツ科学、公衆衛生学に関わる専門家、研究者の方が北欧、フィンランドを基地として世界中で集い、自らの領域の課題を他領域の専門家と検討し、知識と人々の交流、アセンブル(複合的な組み合わせ効果)を引き出し、専門領域だけでは難渋してしまう課題を共有し、あらたな解決のヒントをつかむことを目指して、四半世紀続いているフィンランドに本部をおく学会(NPO)です。この度、10年ぶりに日本開催となりました。学会会員を問わず、応募いただけます。ご参加お待ちしております。

プログラム

基調講演1(通訳付き) **Feasibility and Well-beingを支える日本の保健医療福祉の専門家教育の経験から残しておきたい経験知(邦題 仮題)**

高橋正明(群馬パース大学)

基調講演2(通訳付き) **Feasibility and Well-beingを支えるFinlandの保健医療福祉の専門家ネットワークの黎明期から今日までの経験から残しておきたい経験知(邦題 仮題)**

Olavi Maninnen(元タンペレ大学)

一般演題セッション(予定)

- 1 ウェルビーイングの実装
- 2 健康課題と複合環境要因
- 3 プロダクティブエージングとウェルビーイング
- 4 ウェルビーイングのデリバリーシステムと仕事
- 5 生命科学と健康課題
- 6 人間工学とウェルビーイング
- 7 ヘルスサイエンスとウェルビーイング



研究発表 口述およびポスター(口述12分、ポスターともプレゼンテーションは英語を使います。)

- ・ 演題発表研究は学会誌Archives of Complex Environmental Studies(ACES)の採択に向けて優先的論文審査権が得られます。

学会ホームページ: http://kimuakilabo.main.jp/iccefj_index.html

参加申し込み・演題申し込み 2017年8月より開始

準備委員長 中 徹(群馬パース大学)

お問合せ: Email a-kimura@paz.ac.jp (学会事務局 木村 朗)